

YMCAせとうち

# WINTER CAMP REPORT



## 八チ高原スキーキャンプA

と き：2017年12月28～30日

ところ：鉢伏高原スキー場／ホテルかねいちや（兵庫県）



12月28日から30日に2泊3日で兵庫県養父市にある八チ高原でスキーキャンプを行いました。ここ数年は、毎年雪不足が心配されていましたが、今年は1月下旬にはスキー場が真っ白になるほど積もり、キャンプで訪れた際も、100cmを超える積雪となっていました。

幼児のこどもたちを含めて、今回初めてスキーをすることもたちは、慣れないスキーブーツに戸惑っていたものの、ゲレンデのコンディションが良かったこともあり、緩やかな斜面を滑る練習をしっかりと積んで、徐々にスキー板に慣れていきました。その甲斐あって、最終日には初リフトに乗って、緩やかな斜面を滑り降りることができました。

上級や中級の子どもたちは、レベルに合わせて緩急様々なコースを滑り、技術の向上を目指しつつ、スキーを楽しんでいました。スキー講習が終わりグループの時間には、かまくら作りやソリ滑り、基地作りなど雪まみれになって楽しんでいました。全員で100人を超える規模の大きいキャンプで、たくさんの出会いがあり、学年も関係なく、こどもたちが自らコミュニケーションをとることが出来ていました。

こどもたちからは、また来年もスキーキャンプに行きたいと言う声や、まだ帰りたくないと言う声も聞こえてきて、とても嬉しく思いました。またスキーキャンプと一緒に行きましょう。

チーフリーダー：エスカルゴリーダー（田中美里）

スキーキャンプは、学年や性別によって作られた「生活グループ」と、スキーの経験やレベルによって作られた「スキーグループ」という2つがあり、どの子もこれら2つのグループに所属することになります。そのため、場合によっては学年も性別も混ざりあったスキーグループが出来ることとなります。もちろん今回のキャンプでも、このようなグループが出来ました。スキー講習が終わり、この混合グループのみんなで昼食を食べながら、スキーの話を楽しそうにしているこどもたち。次の講習までを、このグループのみんなとUNOをしながら過ごしているこどもたち。ごく自然に声を掛け合ったり、年長者が小さなこどもたちを気遣ったりしていました。キャンプには不思議なチカラがあります。みんなが前向きで、少しの違いは気にせず、許容する空気。その中で、昨日できなかったことが今日出来るという、成功のスマールステップを経験することが出来ました。そんなキャンプで、またみなさんとお会いしたいと願っています。

キャンプディレクター：白鳥雅人

